（様式３－２） 研修活動記録票（研修活動に要する経費）

NO.1　　嬉野市議会議員　　森田明彦

研修月日	平成31年1月10日～11日
研修時間	10日12時30分～11日15時
研修先	全国市町村国際文化研修所
所在地	大津市唐崎二丁目13番1号
研修の目的	近年、全国的に災害が相次いでいることから「防災と議員の役割」は、時機を得た研修と考える。
担当者（講師）	首都大学東京、名誉教授 中林一樹 氏
内容・結果等	【講義】①13:00～14:30 地域防災力を向上させるために
	1,21世紀、荒ぶる自然と脆弱化する地域社会
	･大地動乱･･多発する大震災･火山噴火
	･大気乱流･･多様化する気象･超巨大台風（海水温上昇で水分蒸発、台風が起こりやすい）
	･大水氾濫･･多発する豪雨･土砂災害･洪水
	●要支援者が増大する･･社会が脆弱化する21世紀
	･高齢社会･･高齢者比率が急増する社会
	･国際化･･外国人が激増する国際社会化（外国の方は日本の災害に慣れていない）
	･コミュニティの崩壊･･地域の人間関係の喪失･･高齢化による地域関係の崩壊
	●巨大災害時（2017）⇒（2042）の支援者一人あたりの要配慮者数
	都心南部地震（1.04/1）⇒（1.41/1）　南海トラフ地震（1.42/1）⇒（1.90/1）
	●もっと学校防災の強化に目を向けるべき。
	【まとめと感想】 地方議員は公人である前に、住民である。平時も発災初動期も住民の目線、女性
	の目線で活動すること。発災3日間は住民として活動する。議員としての活動は公平、平等、公正が
	災害対応の原則であり、行政を支援し、住民を支援する。復旧、復興期から行政に対するチェックを。

上記活動に要した経費	経費の内容	支払先	金額（円）
	旅費（肥前鹿島～京都往復）	JR九州　等	29,530
	研修費	全国市町村国際文化研修所	7,300
	振込手数料	九州ひぜん信用金庫	648
	合計		37,478

（様式３－２） 研修活動記録票（研修活動に要する経費）

NO.2　　嬉野市議会議員　　森田明彦

研修月日	平成31年1月10日～11日		
研修時間	10日 12時30分～11日 15時まで		
研修先	全国市町村国際文化研修所		
所在地	大津市唐崎二丁目13番1号		
研修の目的	近年、全国的に災害が相次いでいることから「防災と議員の役割」は、時機を得た研修と考える。		
担当者（講師）	・跡見学園女子大学 教授 鍵屋 一 氏　・防災企業連合関西そなえ隊事務局　湯井 恵美子 氏		
内容・結果等	【講義】②14:25～17:30 平時の防災（マネジメントを中心に） 後半にワークショップ		
	1、ナマハゲ（秋田県）は災害ボランティアを兼ねている。（鍵屋氏は男鹿市出身）		
	〇平時は五穀豊穣、家内安全を祈る来訪神、 災害時は、要配慮者情報（ナマハゲ台帳）に基づき		
	避難支援を行う。 ●避難場所（神社）を日頃から使う ●避難場所までの参道を日頃から整備する		
	●確実な避難方法（要配慮者との同行避難）		
	〇脆弱な基礎自治体の防災体制と実効性を欠く地域防災計画		
	●都市自治体は大被害への対応力不足 ●縦割りか、所管がなく目標統合されていない為、災害		
	時には、ほとんど役に立たない 〇地域防災計画における重要課題 ●減災目標の設定と達成に		
	向けたマネジメント・サイクルが導入されてなく（減災目標に達せずとも議会を通ってしまう）おかしい		
	●被害抑止⇒社会インフラの予防計画に関しては、縦割り事業主体が作成した事業計画の転記		
	●被害軽減⇒公助、共助、自助による地域連帯、関係者や地域住民との協働の内容が希薄である		
	●応急対応⇒対応計画は、職場や組織が被災しない前提であり、業務継続計画の概念が欠如		
	【まとめと感想】男鹿市出身の講師は、ナマハゲが五穀豊穣を祈る来訪神であると同時に実は伝統		
	行事を通して、要配慮者情報（ナマハゲ台帳）に基づいて避難支援を行う災害ボランティアでもある		
	ことをお聞きし興味深かった。 また、地域防災計画については、より実効性のある計画が重要。		
上記活動に要した経費	経費の内容	支払先	金額（円）
	NO.1に同じ		
	合計		0

（様式３－２） 研修活動記録票（研修活動に要する経費）

NO.3　　嬉野市議会議員　　森田明彦

研修月日	平成31年1月10日～11日		
研修時間	10日 12時30分～11日 15時まで		
研修先	全国市町村国際文化研修所		
所在地	大津市唐崎二丁目13番1号		
研修の目的	近年、全国的に災害が相次いでいることから「防災と議員の役割」は、時機を得た研修と考える。		
担当者（講師）	熊本市東区若葉校区自治協議会　峯山秀次郎 氏　・熊本市東区役所総務企画課　漆野和也 氏		
内容・結果等	【講義】③9:00～10:30 事例紹介・「災害時の避難所運営を経験して」（その時避難所内では） 〇平成28年の熊本地震後も、九州北部豪雨、大阪府北部地震、西日本豪雨に続き、北海道胆振東部地震など、甚大・悲惨な災害が続いている。これら突如として発生する大災害に対し、私たちは何を考え、何を準備し、何に備えたらいいのか？ 1、**避難所の開設・運営の流れ**　（学校体育館）　**〇開設**、初動は自治会役員と地域住民・随時学校職員が加わる。市職員は人員が制限され充分な対応が取れなかったが、他市（福岡⇒横浜）から支援職員が到着し、ボランティア団体等の活動で順次拡充される。（近所の自治会役員が体育館の鍵を預かった）　**〇運営**、住民、学校職員、その後行政職員、学校職員が順次拡充された。ボランティア・市職員・看護師・福岡⇒横浜市からの支援職員　**〇避難所運営会議**（学校長から、これからの運営についての要請があった）（校区自治協議会・行政・医療・ボランティア団体も始動） **【まとめと感想】**　熊本地震における避難所（若葉小学校）の統括リーダー、峯山秀次郎氏は平時は自治協議会交通安全協会長などをされ、地震発生当初から避難所運営に携わり、程なく、統括リーダーに指名され、多くの心痛を受けながらの対応をお聞きした。7つの班【ボランティア、食料・給食、衛生管理、物資、介護（避難所）及び（在宅者）、行政・医療】※委員はビブスで色分け、また、こどもがボランティアに入ることで大人が無理を言わない、など実際の運営を指揮された事案を活かしたい		
上記活動に要した経費	経費の内容	支払先	金額（円）
	NO.1に同じ		
	合計		0

（様式３－２） 研修活動記録票（研修活動に要する経費）

NO.4　　嬉野市議会議員　　森田明彦

研修月日	平成31年1月10日～11日
研修時間	10日 12時30分～11日 15時まで
研修先	全国市町村国際文化研修所
所在地	大津市唐崎二丁目13番1号
研修の目的	近年、全国的に災害が相次いでいることから「防災と議員の役割」は、時機を得た研修と考える。
担当者（講師）	跡見学園女子大学教授　鍵屋一 氏　・防災企業連合関西そなえ隊事務局　湯井 恵美子　氏
内容・結果等	【講義と演習】④10：45～12：00・13：00～15：00 災害時、復旧、復興期の議員の役割 〇事業継続（BC）の目的　・組織が災害で被害を受けても、組織関係者の人命を守る、・重要業務を（なるべく）中断しない、・重要業務が中断した場合は出来るだけ早急に復旧させること 〇応急対策期の議会、議員　・「じゃまをしない」を超えて！・活動ルール（議長への情報一元化） ・活動の道具（情報、場所、機会）・積極的な情報提供（行政、市民双方に）・積極的な地域活動 〇復旧・復興期の議会、議員　・通常時の対応を超えて　・国や県との政治的調整　・議長のリーダーシップ　・審議方式（全議員、特別委員会、通常の委員会）・行政と住民のパイプ役、無駄は許さず・地域特性を踏まえ、エゴは許さず　〇議会ルール策定の順序・魂を入れる（心。対話で仲間づくり）・仏を作る（形。計画、物の確保）・仏を磨く（継続。訓練、見直し） 〇地方議会の役割・二元代表制の一方の機関として ①監視機能 ②政策立案機能（主として、平常時の議会開会中の質疑を通じて行う）災害時：法制度も実態も役割が明確でない。 **【まとめと感想】** 議会の災害対応規定の状況を見ても、（基本条例）5.2%、（行動マニュアル）19.9% ⇒関心は高まっているが全体としてまだ低い！　発災後の執行機関の状況は、被害拡大防止、救助・救命・生活支援など膨大な行政需要が出る為、議会対応の時間がない。大規模災害発生時の意思決定の困難さは想像を絶する。平時の訓練と備えがなければ危機への対処はほとんど失敗。

上記活動に要した経費	経費の内容	支払先	金額（円）
	NO.1に同じ		
	合計		